

WideAngle

ASM サービス仕様書

バージョン 2.06

2025年12月5日

NTTドコモビジネス株式会社

M&S部セキュリティサービス部門

WideAngleを利用するお客さまが対象です。

目次

1. はじめに	3
2. サービス概要	4
3. サービス仕様	5
3.1. サービス構成	5
3.2. 提供区分	5
3.3. 提供メニュー	6
3.4. 提供条件	7
3.5. 提供機能	8
3.5.1. ポータル機能	8
3.5.2. レポート解説（オプション）	14
3.6. 技術仕様	15
3.7. サービス品質	20
3.8. 提供地域	20
4. お客さま事前同意・制限事項	21
4.1. サービスの価格	21
4.2. お申し込み	21
4.2.1. 申込方法	21
4.2.2. 申込書	22
4.3. 標準開通日	23
4.4. 開通案内・配布同館物	24
4.5. 受付業務	24
4.6. 工事・故障通知	25
4.7. 請求方法	25
4.8. 重要説明事項	26
4.8.1. ライセンスについて	26
4.8.2. 品質について	26
4.8.3. アクセス回線について	26

4.8.4.	最低利用期間	26
4.8.5.	料金について	27
4.8.6.	提供中止	27
4.8.7.	契約の成立	27
4.8.8.	契約の解除	27
4.8.9.	免責	27
4.8.10.	サービスの廃止	28
4.9.	留意事項	28
4.9.1.	ご利用について	28
4.9.2.	注意事項について	28
5.	お問い合わせ連絡先	30
6.	用語集	31
	改訂履歴	32

記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

WideAngle は NTT ドコモビジネスが提供する総合リスク マネジメント サービスのブランドです。

本書は、ASM のサービス提供機能、利用条件、および注意事項などについて記述したものです。機能名や画面、メール文面は、予告なく変更される場合があります。

関連文書

- **WideAngle ASM 利用規約**

WideAngle ASM の契約条件を定めたサービス利用規約です。

- **ダークウェブアイログインマニュアル**

WideAngle ASM のログインに関するお客さまユーザー向けマニュアルです。

- **ダークウェブアイ ASM マニュアル**

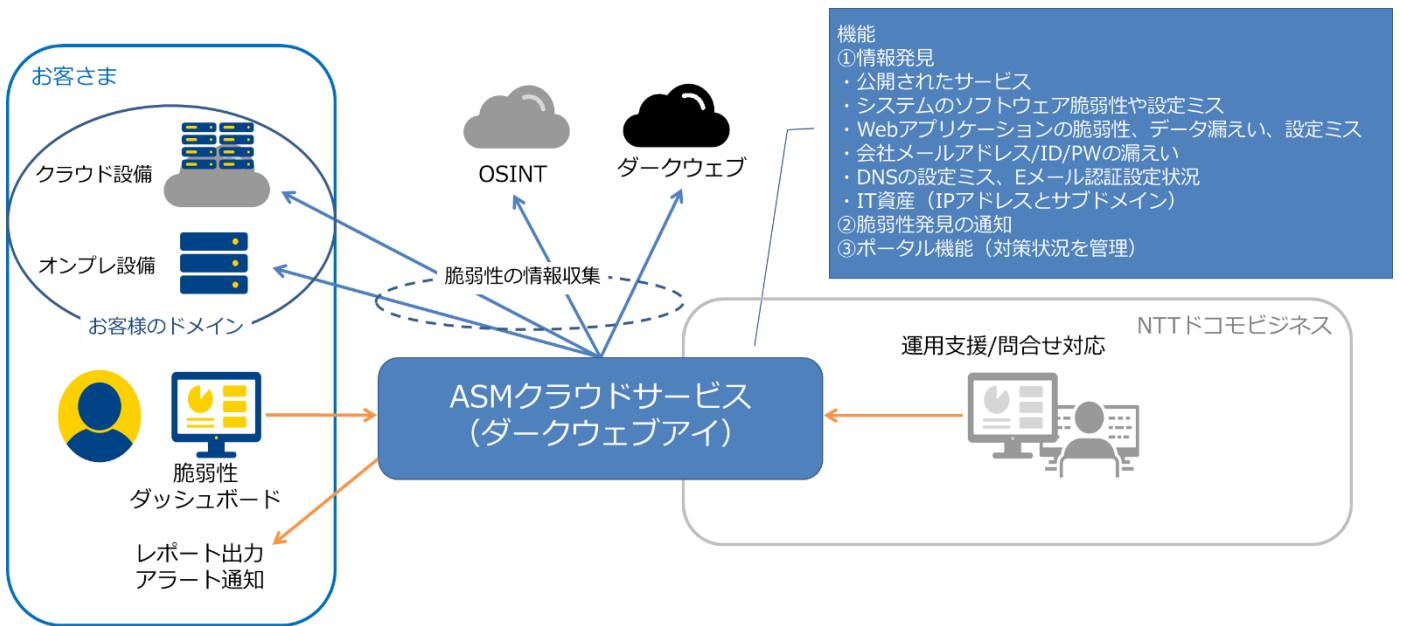
WideAngle ASM のアタックサーフェス機能のお客さまユーザー向けマニュアルです。

- **ダークウェブアイ情報漏洩マニュアル**

WideAngle ASM の情報漏洩機能のお客さまユーザー向けマニュアルです。

2. サービス概要

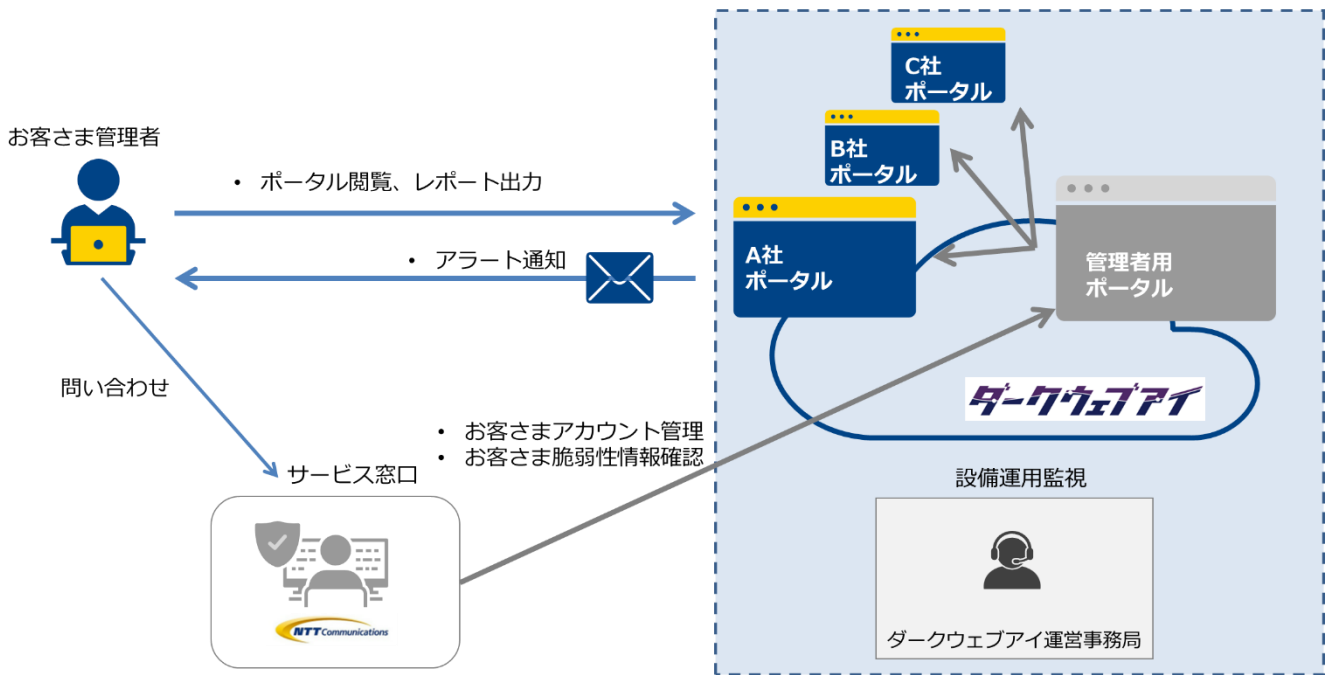
- 株式会社 SMS データテックのダークウェブアイをプラットフォームとしたサービスです。
- 収集した脆弱性情報と外部に公開されたお客さま IT 資産との情報を突合し、常時参照可能なポータルダッシュボードを提供します。
- ダッシュボードの内容は、社内での報告等に利用できるようレポート出力することも可能です。
- 事前に設定した通知リスクレベル（緊急・高・中・低）に応じてメール通知されます。



3. サービス仕様

3.1. サービス構成

- ダークウェブアイは、ドメイン情報に紐づくインターネット上の公開情報を自動で収集・分析して評価レポートを生成します。
- お客さま管理者は、ダークウェブアイのポータル画面から脆弱性情報や IT 資産情報、ID/PW の漏えい情報の閲覧を行います。
- NTT ドコモビジネスは、ダークウェブアイ管理用ポータル画面にて、全お客さまのアカウントを追加削除の管理を行い、脆弱性情報も確認します。



3.2. 提供区分

ダークウェブアイのライセンスを提供し、お客さまにてインターネット上のダークウェブアイのポータルを操作します。ダークウェブアイのポータルまでのインターネット環境はお客さまにてご用意いただきます。

3.3. 提供メニュー

- 提供メニューは以下の通りです。
- ドメインとは、独自ドメインを意味しています。

メニュー		申込単位	概要
基本プラン	ASM	ドメイン単位	<ul style="list-style-type: none"> • ASM 機能を提供します。 • ポータル機能を提供します。 • 問い合わせサポートを提供します。 • 最低利用期間 12 カ月。 • 週一回スキャン。 • 100 サブドメイン未満までスキャンします。 • 1 つの申込書で、基本プラン（ASM と ASM+情報漏洩の合計）のドメイン数は 10 ドメインまで申込できます。
	ASM+情報漏洩	ドメイン単位	<ul style="list-style-type: none"> • 同上 • 情報漏洩はサブドメイン数制限なし。
オプション	サブドメイン 100 以上	ドメイン単位	<ul style="list-style-type: none"> • 100 以上 1000 サブドメインまでスキャンします。
	レポート解説	契約単位	<ul style="list-style-type: none"> • レポート結果の内容について解説、専門的アドバイスを行います。以下のチケットメニュー以外は個別相談です。 <p>2 チケット：解説+実施報告書 3 チケット：解説+実施報告書+専門的アドバイス</p>

3.4. 提供条件

- サービス区分は、基本プランとオプションがあり、オプションだけ新規で申し込むことはできません。
- 2つのプランは、1契約でそれぞれ監視ドメイン毎にお申し込みできます。
- 変更申込で変更できる内容は、プラン変更、監視ドメインの変更、オプションメニューの追加、削除です。
- 複数回の変更申込は、受付をお断りさせていただく場合があります。
- 1契約の最低利用期間は12カ月です。
- レポートは、レポート作成時点の最新情報で評価します。
- レポートの言語は日本語です。
- 監視ドメインは、独自ドメインをお申込みいただきます。サブドメインでのお申し込みはできません。お申込みいただいた独自ドメインのサブドメインも監視対象となります。
- Gmail、Hotmail、Yahoo!メールや、通信キャリア・ISP（インターネットサービスプロバイダー）が提供するメールドメインは監視対象外となります。また監視ドメインが別のドメインのサブドメインとなっている場合等、一定の条件に該当する場合には監視対象外とさせていただくことがあります。
- 監視ドメイン名は、日本語を含むマルチバイト文字はサポートしていません。またIPv6のIPアドレスは対象外です。
- リダイレクト設定をしているドメインの場合は、リダイレクト先のドメインに対してのみ監視を行います。
- 監視ドメインは、nslookupでDNS情報が取得できるものとしします。
- 本サービスの監視ドメインは申込者が管理している資産である必要があります。
- スキャンする送信元IPアドレスを指定することはできません。
- スキャン頻度は週1回（日本時間の毎月曜日0時頃）ですが、脆弱性をスキャンするものに関しては、サイトの応答がなかったり、ブロックされてしまったりと、お客さまネットワークの影響をかなり受けやすく安定して毎回スキャンできるとは限りません。
- 新設申込時は開通日までにスキャンを実施して提供しますが、変更申込でのドメイン追加時はスキャンは週1回の更新時に行います。
- 攻撃対象領域（アタックサーフェス）として検知した内容の具体的な個所は例として最大5件まで表示します。
- 1つの独自ドメインに関するサブドメインは最大1000サブドメインまで表示可能です。基本プランはシステム側で選択した99サブドメインのみスキャン実施します。100サブドメイン以上スキャンする場合は、オプションのお申し込みが必要です。
- ご要望により、独自ドメインのサブドメイン数をお申込み前に調査してお知らせします。
- オプションで、100サブドメイン以上を検出する場合、表示の遅延が発生する可能性があります。
- ポータル利用は、モバイル端末からのアクセスはできません。
- デバイス：PC、OS：Windows, Mac、ブラウザ：Chrome, Edgeからのアクセスが可能です。
- 本サービスのポータルへの接続は、HTTPS通信で行います。
- ユーザー（クライアント端末）に提供するスループットに保証はありません。
- 本プラットフォームは、パッシブスキャンやアクティブスキャン、オープンソースやダークウェブの情報など様々な手法を用いて情報を収集します。
- OSINT技術をベースとしているため、精度は100%ではなく、誤検知等が混ざる可能性があります。

- 本サービスは日本国内限定での提供となります。
- ポータルに登録される契約管理者と IP アドレス設定はお客さまで設定変更できません。本サービスサポートにお問い合わせください。

3.5. 提供機能

3.5.1. ポータル機能

(1) 権限ロール

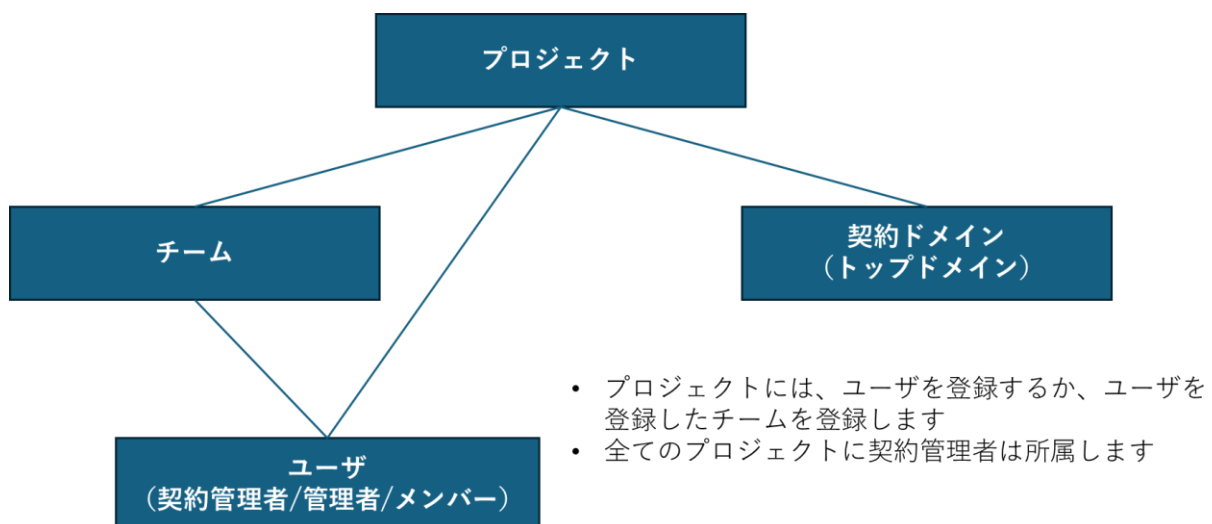
- 以後の表記の説明です。

表記	閲覧権限	操作権限	権限
●	あり	あり	閲覧可能・操作可能
○	あり	あり	閲覧可能・操作可能（許可されたプロジェクトのみ）
×	あり	なし	閲覧可能・操作不可（ボタンが非活性化状態）
—	なし	なし	機能が表示されない

- 次の権限ロールがあります。

想定利用者	権限ロール	説明
お客さま	契約管理者	お客様の管理者権限として全てのリソースへの操作が可能
お客さま	管理者	契約管理の画面以外、全てのリソースへの操作が可能
お客さま	メンバー	お客様の一般ユーザとして利用され、指定されたプロジェクトに対する操作・編集権限が付与される

(2) プロジェクト/チーム/ユーザの関係図



(3) メイン画面＞情報漏洩

- 情報漏洩機能の操作権限です。
- 「契約管理者/管理者」は全体に対して操作可能で、「メンバー」は「契約管理者/管理者」に定められたリソースに対してアクセスが可能です。

機能分類				ユーザ		機能説明
1	2	3	4	メンバー	契約管理者/管理者	
メイン画面	情報漏洩	ダッシュボード		○	●	脅威状況がグラフィカルに確認可能なダッシュボード
		脅威情報一覧		○	●	ダークウェブ・ディープウェブ上で検出可能な対象の脅威一覧
			ステータス変更	○	●	ステータスを『オープン』『対応中』『クローズ』に変更可能
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能
		情報漏洩発生サービス		○	●	情報漏洩が発覚したサービスの一覧
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能
		漏洩社員管理		○	●	情報漏洩したメールアドレスとそれに紐づく漏洩した個人情報の一覧
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能
			PW 変更依頼メール	○	●	選択した、メールアドレス宛にPW 変更依頼メールを送信可能
			在籍変更	○	●	選択した、メールアドレスユーザの在籍状況を変更可能
			タグ作成	○	●	タグ列に設定するタグを作成
			タグ設定	○	●	設定したタグを設定可能
		ブラックマーケット		○	●	情報漏洩が発覚したブラックマーケットの販売データ一覧
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能
		脅威掲示板		○	●	外部から閲覧可能な掲示板の一覧
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能
		フィッシングドメイン		○	●	自社保有のドメインになりすましている可能性があるドメイン情報の一覧
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能
		CMS ユーザアカウント		○	●	CMS で構築されている Web サイトの管理者アカウントの漏洩状況の一覧
			CSVダウンロード	○	●	CSVダウンロード可能

(4) メイン画面> アタックサーフェス

- アタックサーフェス機能の操作権限です。
- 「契約管理者/管理者」は全体に対して操作可能で、「メンバー」は「契約管理者/管理者」に定められたリソースに対してアクセスが可能です。

機能分類				ユーザ		機能説明
1	2	3	4	メンバー	契約管理者/管理者	
メイン画面	アタックサーフェス	ダッシュボード		○	●	脅威状況がグラフィカルに確認可能なダッシュボード
		攻撃対象領域		○	●	攻撃者視点による外部から攻撃可能な対象の一覧
			ステータス変更	○	●	ステータスを『オープン』『対応中』『クローズ』に変更可能
			CSV ダウンロード	○	●	CSV ダウンロード可能
		IT 資産	IP アドレス	○	●	ドメインに紐づく IP アドレスの一覧
			ドメイン	○	●	外部から検知可能なドメイン情報の一覧
			ポート	○	●	サーバ上で公開されているポート情報の一覧
			ネットワーク機器・OS	○	●	サーバ上で公開されている OS 情報の一覧
			ソフトウェア	○	●	サーバ上で公開されている Web サイトで利用しているソフトウェア情報の一覧
			SSL 証明書	○	●	サーバ上で公開されている Web サイトで利用している SSL 証明書の一覧
			公開文書	○	●	外部から閲覧可能なファイルの一覧
			IT 資産各 CSV ダウンロード	○	●	CSV ダウンロード可能

(5) メイン画面>プロジェクト設定

- 初めのプロジェクト「Global」は自動生成されます。

機能分類						ユーザ		機能説明	
1	2	3	4	5	6	メンバー	契約管理者 /管理者		
メイン画面	一般	レポート					○	●	検知された情報漏洩とASMに関する情報をPDFで出力
		プロジェクト設定					○	●	プロジェクトを管理することが可能
		ドメイン管理					○	●	プロジェクトに所属しているドメイン一覧を閲覧可能
		ドメイン削除					-	●	登録したトップドメインをプロジェクト内から削除が可能
		トップドメイン追加					-	●	登録されているトップドメインをプロジェクト内に追加可能
		監視ドメイン					○	●	監視対象のドメインを確認可能
		ユーザ管理					○	●	プロジェクトに所属しているチーム、ユーザー一覧を閲覧可能
		所属チーム					-	●	プロジェクトに所属しているチーム一覧を閲覧可能
		チーム削除					-	●	プロジェクトに所属しているチームの削除が可能
		チームメンバー編集					-	●	プロジェクトに所属しているチームメンバーの編集が可能
		チームメンバー削除					-	●	チームメンバーの削除が可能
		所属ユーザ					-	●	プロジェクトに所属しているユーザを閲覧可能
		ユーザ追加					-	●	プロジェクトにユーザの追加が可能
		ユーザ削除						●	プロジェクトからユーザの削除が可能

(6) 全体設定＞一般

- 一般設定はシステム全体の設定メニューとなり、レポート関連機能以外は「契約管理者/管理者」が操作可能なメニューです。

機能分類				ユーザ		機能説明	
1	2	3	4	メンバー	契約管理者 /管理者		
全体 設定	プロジェクト管理	プロジェクト管理		○	●	プロジェクトを管理することが可能	
		プロジェクト作成		-	●	プロジェクトを作成可能	
		プロジェクト一覧		プロジェクト編集	-	●	プロジェクト名を編集可能
				プロジェクト削除	-	●	プロジェクトの削除可能
				ユーザ管理	ユーザ一覧	-	●
	ユーザ編集		ユーザ編集	-	●	ユーザの名前/権限（昇格/降格）/チームが編集可能 ※契約管理者は1名、管理者は0～3名登録できます ※契約管理者の編集は不可	
			ユーザ削除	-	●	ユーザの削除が可能 ※契約管理者の削除は不可。	
	ユーザアカウントロック解除		-	●	ユーザアカウントのロック解除 ※ログインに5回失敗で30分のロック、5回以降は一度間違えるたびに30分ロック、10回失敗で完全ロック		
	ユーザ作成		-	●	メンバーユーザを作成可能 ※ユーザは合計10名登録できます		
	管理者ユーザ作成		-	●	管理者ユーザを作成可能		
	ログイン履歴		-	●	作成したユーザのログイン履歴を過去一年分表示		
	チーム管理		-	●	チームを管理することが可能		
	チーム作成		-	●	チームを作成することが可能		
	チーム一覧		チーム編集	-	●	作成したチームの所属ユーザ追加/削除、プロジェクトに追加/削除	
			チーム削除	-	●	作成したチームの削除が可能	
	契約管理		トップドメイン作成	-	-	トップドメインの作成が可能	
			ドメイン一覧		-	○	契約中のトップドメインが確認可能 ※契約管理者のみ表示されます
			ドメイン削除		-	-	トップドメインの削除が可能

企業設定	IPアドレス設定	IPアドレス一覧表示	-	●	IPアドレスの一覧を閲覧可能
		IPアドレス追加	-	-	IPアドレスを追加することが可能
		IPアドレス編集	-	-	IPアドレスを編集することが可能
		IPアドレス削除	-	-	IPアドレスを削除することが可能
	Slack連携		-	●	設定したワークスペース/チャンネルに対して通知範囲を設定し通知可能
	操作履歴		-	●	操作履歴を表示

(7) 個人設定

- 個人設定はポータル画面右上から選択可能なメニューとなり、ユーザが自分自身に関わる操作を可能なメニューです。

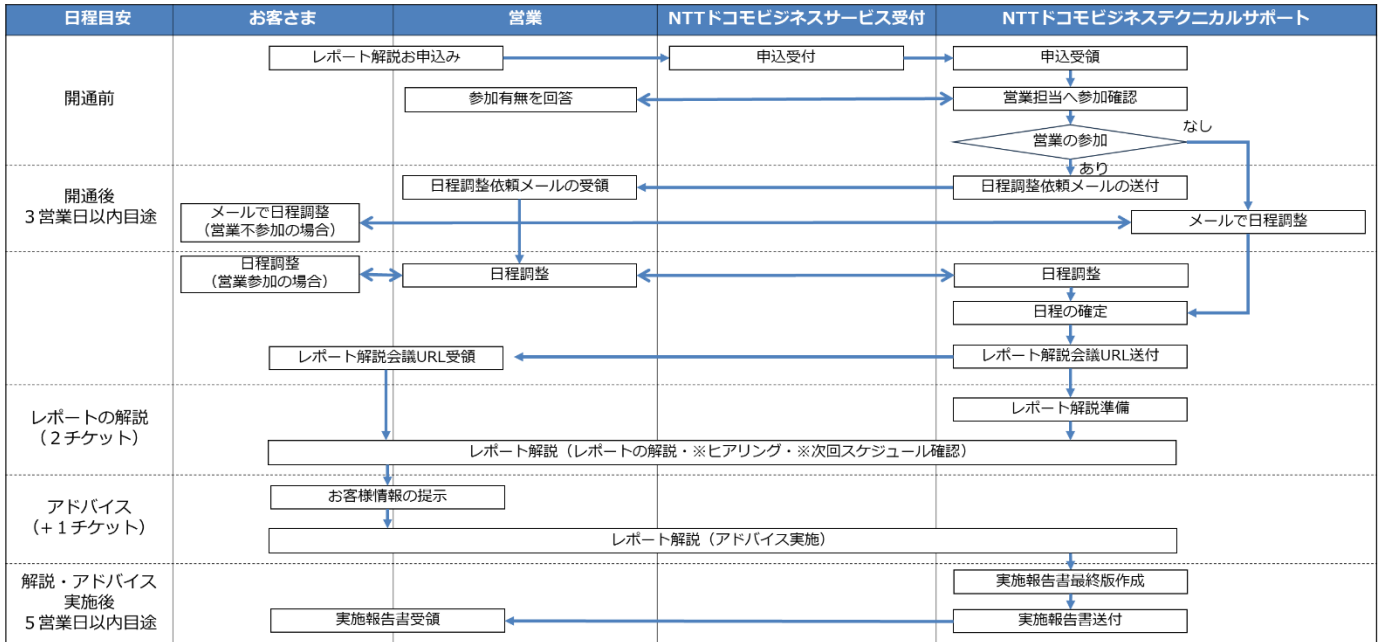
機能分類			ユーザ		機能説明
1	2	3	メンバー	契約管理者/管理者	
個人設定	プロフィール管理		●	●	ログインユーザのプロフィールとして性/名を編集可能
		ログイン履歴	●	●	ログインしたユーザの履歴のみが閲覧可能
	通知		●	●	設定したメールアドレスに対して通知範囲を設定し通知可能
		通知履歴	●	●	通知履歴を閲覧可能
	パスワード更新		●	●	現在のパスワードを更新可能 半角英数字記号 10～30 桁（半角文字の英小文字、英大文字、数字、記号のどれか 3 種類の文字を利用） ※ ! @ # \$ % ^ * () _ + ~ , に限定して許可
	マニュアルダウンロード		●	●	情報漏洩・ASM マニュアルをダウンロード可能
	ログアウト		●	●	ログアウトが可能

3.5.2. レポート解説（オプション）

- ポータルから出力されるレポートの内容に関して解説し、お客様環境を踏まえたアドバイスを行います。
- (1) 対象範囲
- レポートの内容に関する解説と専門的アドバイスを提供します。対象レポートは原則、開通日より数日以内に当社が出力したもので行います。
 - お申し込みいただいたドメイン（10ドメインまで）が対象です。
- (2) 提供内容
- a. レポートの解説：2チケット（2時間程度）
 - 実施報告書の提出
 - b. レポートの解説とアドバイス：3チケット（2～4時間程度）
 - お客様環境のヒアリングとレポート結果に対する専門的アドバイス
 - 実施報告書の提出
 - c. その他（個別相談）
- (3) 提供条件
- 解説やアドバイスはリモート会議での対応とさせていただきます。
 - 当社営業担当が参加させていただく場合もあります。
 - リモート会議は1回実施としますが、解説とアドバイスをお申し込みの場合、1回（2時間）で終わらず2回目を実施させていただく場合もあります。
 - 事前にお申し込みいただいたチケット数の内容を提供します。
 - お申し込みいただけるチケット数は2チケットまたは3チケットで、4チケット以上をご希望の場合は事前にご相談下さい。
 - お申し込みいただいたドメイン数に関係なく最大10ドメインまで2チケットまたは3チケットで対応します。
 - お客様のご要望内容によっては、追加のお申し込みが必要になります。
 - チケットの有効期限は契約期間内になります。
 - お客様環境のヒアリングでは、お客様情報の提示が必要になります。
 - サービス導入を見据えた具体的な提案（見積作成など）や導入サポートは本オプションでは行いません。各販売担当にて対応します。
 - 対象とするレポートの生成日からご説明までに数週間のお時間をいただいております。その間に状況に変化があった場合、レポートと現状の検出状況に差異が生じることがあります。
 - レポートの解説やアドバイスは日本語対応のみです。
 - お申し込み後の返金・キャンセルは受け付けません。
 - ▲ 一度お申し込みいただいたチケット数の削除・返金対応は行いませんのでご注意ください。追加は対応可能です。

(4) 提供の流れ

- 提供フロー



3.6. 技術仕様

(1) ASM のスキャン数の遷移

- ASM では起点ドメインを中心に週に 1 回スキャンが実施されます。
- スキャン時点で起点ドメインから発見されたサブドメインが ASM の調査対象となるため、新しく追加されたサブドメインが発見された場合は自動的にスキャンの対象に追加されます。

(2) ASM のサブドメインスキャンの最大値

オプション申込	サブドメイン表示数	サブドメイン報告数
サブドメイン 100 以上なし	最大 1000 件表示	99 件までスキャンし報告
サブドメイン 100 以上なし	最大 1000 件表示	1000 件までスキャンし報告

(3) 脅威スコアの考え方

- 危険度の緊急と高の件数でスコア (0~100%) を計算しています。スコアが高い方が脅威が大きいことを意味します。

$$\text{緊急の件数} \times \text{緊急の重み} + \text{高の件数} \times \text{高の重み} / \text{緊急の件数} \times \text{緊急の重み} + \text{高の件数} \times \text{緊急の重み}$$

(4) ASM の調査項目

- 検査総数は全ての調査項目の総数で約 14 億件です。これは検査用のシグネチャ及び CVE の数となります。

① アプリケーション

リスクレベル					スキャン 周期	調査項目	説明	評価から 除外される期間
緊急	高	中	低	情報				
緊急	高	中			週一	アクセス制御の不備	ユーザーが許可されていない機能やデータにアクセスできる状態。	無し
緊急	高	中	低	情報	週一	インジェクション	信頼されていないデータがコマンドやクエリとして解釈・実行される状態。	無し
	高	中	低		週一	暗号化の不備	機密データの暗号化が不適切または欠如している状態。	無し
	高	中	低		週一	脆弱で古いコンポーネント	既知の脆弱性を持つ、またはサポートが終了したコンポーネントの使用。	無し
	高	中	低		週一	識別と認証の不備	ユーザーの識別や認証が不適切で、なりすましや不正アクセスが可能な状態。	無し
	高	中	低		週一	サーバーサイドリクエストフォージェリ	攻撃者がサーバーを悪用して、内部ネットワークや他の信頼されたシステムへのリクエストを送信させることが可能な状態。	無し
		中	低		週一	セキュアデザインの不備	設計段階でのセキュリティ対策の欠如や不備。	無し
		中	低		週一	セキュリティの設定ミス	安全でないデフォルト設定や不適切な設定により、システムが脆弱になる状態。	無し
		中	低		週一	ソフトウェアとデータの整合性の不具合	ソフトウェアやデータの整合性が検証されず、改ざんや不正な変更が検出されない状態	無し
		中	低		週一	不十分なセキュリティのログ記録と監視	セキュリティ関連のイベントが適切に記録・監視されていないため、インシデントの検出や対応が遅れる可能性がある状態。	無し
		中	低		週一	不必要な機能の有効化	使用されていない機能や不要なAPIが有効化されており、攻撃面が拡大する状態。	無し

		中	低	情報	週一	エラーメッセージの情報漏洩	エラーメッセージにシステム内部情報が含まれ、攻撃者にヒントを与える状態。	無し
--	--	---	---	----	----	---------------	--------------------------------------	----

② ソフトウェア

リスクレベル					スキャン 周期	調査項目	説明	評価から 除外される 期間
緊急	高	中	低	情報				
緊急	高				週一	権限昇格	ローカルまたはリモートから、通常は許可されない高い権限が不正に取得される脆弱性。	無し
緊急	高	中	低	情報	週一	インジェクション	信頼されない入力が原因で、意図しないコマンドやクエリが実行される脆弱性。	無し
	高	中	低		週一	暗号化の不備	機密データが適切に暗号化されず、攻撃者に情報が漏洩するリスクがある状態。	無し
	高	中	低		週一	サーバーサイドリクエストフォージェリ	攻撃者がサーバーを利用して内部ネットワークなど、他の信頼領域へのリクエストを実行させる脆弱性。	無し
	高	中	低		週一	認証・認可の不備	不適切な認証やアクセス制御により、攻撃者が不正にシステムや機密情報へアクセスできる状態。	無し
		中	低		週一	情報漏洩	内部の機密情報や個人情報など、保護されるべき情報が外部に漏れる脆弱性。	無し
		中	低		週一	サービス拒否	攻撃によりシステムやサービスが過負荷状態となり、正当な利用者が利用できなくなる脆弱性。	無し
		中	低		週一	設定ミス・構成不備	不適切な設定や構成により、本来保護されるべき機能が正しく動作せず、攻撃者が悪用可能な状態。	無し
		中	低		週一	ログ記録・監視の不備	セキュリティイベントのログ収集や監視が十分でないため、攻撃の兆候を早期に検知できない状態。	無し

		中	低		週一	ソフトウェア・データ整合性の問題	ソフトウェアやデータの整合性が検証されず、改ざんや不正な変更が行われるリスクが存在する状態。	無し
		中	低	情報	週一	冗長な権限設定	最小権限の原則に反し、ユーザーに不要な権限が付与されている状態。	無し
			低	情報	週一	非推奨ライブラリの使用	非推奨だが脆弱性がないライブラリが使用されており、将来リスクが生じる状態。	無し

③ ネットワーク

リスクレベル					スキャン 周期	調査項目	説明	評価から 除外される期間
緊急	高	中	低	情報				
緊急	高				週一	リモートコード実行	外部からの攻撃でシステム上に任意のコードが実行される脆弱性を検出するテンプレート。	無し
	高	中	低		週一	SQL インジェクション	不正な SQL クエリ実行が可能となる SQL インジェクション脆弱性を検出するテンプレート。	無し
	高	中	低		週一	サーバーサイドリクエストフォージェリ	サーバーを悪用し、内部ネットワークや外部システムへの不正リクエストを実行させる脆弱性を検出するテンプレート。	無し
	高	中	低		週一	サブドメイン乗っ取り	サブドメインの管理不備による乗っ取りリスクを検出するテンプレート。	無し
		中	低		週一	設定ミス・構成不備	サーバーやミドルウェアの設定ミス、構成不備による脆弱性を検出するテンプレート。	無し
		中	低		週一	情報漏洩	機密情報や内部情報が意図せず公開される脆弱性を検出するテンプレート。	無し
		中	低		週一	クロスサイトスクリプティング	悪意あるスクリプトが埋め込まれるクロスサイトスクリプティング脆弱性を検出するテンプレート。	無し

		中	低		週一	オープンリダイレクト	不正なリダイレクト設定により、ユーザーが攻撃者の指定するサイトへ誘導される脆弱性を検出するテンプレート。	無し
		中	低		週一	ディレクトリトラバーサル	不正なパス操作により、機密ファイルやディレクトリの内容が取得される脆弱性を検出するテンプレート。	無し
		中	低		週一	未使用ポートの開放	使用されていないネットワークポートが開放されており、攻撃経路となる可能性。	無し
		中	低	情報	週一	セキュリティヘッダーの未設定	HTTP セキュリティヘッダー（例: CSP, HSTS）が未設定で、脆弱性対策が不十分な状態。	無し

(5) IP アドレス制限

- 登録した IP アドレスからのアクセスのみ可能とします。
- 登録していない場合は全ての日本国内の IP からのアクセスを許可します。
- 機能としては CIDR 入力を許可します。

(6) データの保管期間

- 論理削除：DB のデータが非表示状態となり画面に非表示となります（データは残る）。
- 物理削除：DB より削除を行いデータが完全削除されます。

契約中	データ種別	論理削除	物理削除	説明
契約中 (スキャン中)	スキャン結果	—	1 年	スキャンは 7 日毎に実施され表示が変更される。 過去のスキャン結果は最大 1 年保管される。
	スキャン結果で脆弱性が発見されなくなった	30 日	1 年	脆弱性が最後に報告されてから 30 日間の間、発見されなくなった場合、報告項目から非表示となる。
	PDF レポート	1 年	3 年	PDF レポートについては 1 年経過した時点で非表示となる
	操作履歴	—	3 年	ユーザ操作（オープン、クローズ等）結果は永久に残る、操作ログについて 3 年間保管されるが現在それを表示する機能は実装されていない。
	ログイン履歴	1 年	3 年	ログイン履歴などの操作情報は 1 年経過後に非表示となる。

	スキャン結果	1年	3年	契約変更によりスキャンが停止されたプロファイルは、1年経過した段階で非表示となる。
契約中 (スキャン停止)	スキャン結果	-	1年	スキャンは7日毎に実施され表示が変更される。 過去のスキャン結果は最大1年保管される。

解約	データ種別	論理削除	物理削除	説明
通常解約	全データ	即時	1年	契約解除後ユーザのアカウントは削除される。管理者アカウントから参照した場合でもデータは非表示となる。
完全削除	全データ	即時	即時	お客さまより完全データ削除依頼があった場合。

(7) セキュリティ

- 基盤は、東京リージョンを利用しています。
- 東京リージョン内で異なる AZ 間にてフェイルオーバーを行い、故障時は待機系サーバと切り替えます。

3.7. サービス品質

本サービスは SLA は定めません。

3.8. 提供地域

- お客さまは、日本国内の法人であり、日本国内で契約するものとします。日本円で請求します。
- 日本国内の法人を対象とし監視対象のドメイン利用地域に制限はありません
- 情報収集するサーバの場所を指定することはできません

4. お客さま事前同意・制限事項

4.1. サービスの価格

基本サービスとオプションサービスのサブドメイン 100 以上はドメイン数単位での月額料金とし、ご利用のドメイン数により価格が決定します。

オプションサービスのレポート解説は、チケット単位での課金とし、内容により必要なチケット数は異なります。

4.2. お申し込み

4.2.1. 申込方法

- 新設、変更、廃止、簡易変更の申込は、申込内容のパターンによって、申込方法が異なります。
- Web サイトからのお申し込みの場合は、NTT ドコモビジネスの法人向け ICT サービス注文サイト「ドコモビジネスオンラインショップ」から注文します。
- 「ドコモビジネスオンラインショップ」でのお申し込みは次の条件があります。この条件に合わない場合は申込書でお申し込みいただきます
 - ① 1 つのお申し込みで、複数プラン（ASM プラン/ASM+情報漏洩プラン）はお申し込みできません。それぞれのプランで申込ページが異なります
 - ② サブドメイン 100 以上オプションはお申し込みできません
 - ③ お申し込み時の管理者ユーザーは 1 名です（開通後にお客さまにて最大計 3 名まで追加できます）
- 申込書でお申し込みは、当社営業担当または、ドコモビジネスコンタクトセンターに注文します。
- 記載変更やキャンセルは、開通案内の送付前（利用開始希望日の 1 営業日前に開通案内を送付します）まで受け付けます。廃止の場合は都度ご相談となります。

申込パターン	備考	Web サイト	申込書
新設	個社ごとのポータルを作成します。	●	●
変更	個社ごとの設定変更をします。	-	●
廃止	個社ごとのポータルを削除します。解約時は廃止申込が必要です。	-	●
簡易変更	料金変更が発生しない、契約者情報の変更に対応します。	-	●

4.2.2. 申込書

- 新設、変更、廃止、簡易変更の申込内容は次の項目とします。
- ご契約者情報の変更（譲渡/改称/継承等）は、簡易変更申込書で対応します。
- ：あり、－：なし、○：Web 申込ではなし

STEP (区分)	申込項目	申込単位	値	新設	変更	廃止	簡易変更
ご契約者情報	契約番号	契約	N+数字 9 桁	-	●	●	●
	契約者名	契約	文字列	●	●	●	●
	契約者住所	契約	文字列	●	●	●	●
	契約担当者名	契約	文字列	●	●	●	●
	契約者電話番号	契約	数字、ハイフン要	●	●	●	●
	メールアドレス	契約	文字列	●	●	●	●
	開通送付先 (会社名、担当者名、メールアドレス)	契約	文字列	●	●	-	-
	開通案内兼ポータル用パスワード	契約	半角英数字 10 桁 (半角文字の英小文字、英大文字、数字の 3 種類の文字をすべて利用)	●	●	-	-
請求書送付先 (会社名、住所、担当者名、電話番号、メールアドレス)	契約	文字列	●	-	-	-	
商品情報	お申込日	契約	年月日	●	●	●	●
	ご利用開始希望日	契約	年月日	●	●	●	-
	ASM 監視ドメイン数	契約	0~10	●	●	-	-
	ASM+情報漏洩監視ドメイン数	契約		●	●	-	-
	サブドメイン 100 以上監視ドメイン数	契約	0~10	●	●	-	-
	監視ドメイン情報 (0~10 個)	ドメイン	文字列 0~90 文字 (ex. ntt.com)	●	●	-	-
	基本プラン	ドメイン	ASM/ASM+情報漏洩	●	●	-	-

	サブドメイン 100 以上有無	ドメイン	あり/なし	●	●	-	-
	レポート解説チ ケット数	チケット	0~9999 (申し込みは 2 以上)	●	●	-	-
	管理者ユーザー 氏名 (1~3) ※No.1 行に記 載のユーザーを 契約管理者とし て登録	契約	文字列 0~10 文字	●	-	-	-
	管理者ユーザー メールアドレス (1~3)	契約	文字列 0~82 文字	●	-	-	-

4.3. 標準開通日

- 標準開通日は次の日程です。
- 当社が申込を受理し、不備が無いことを確認された時点から起算した日数となります。尚、当日 15 時を過ぎた場合は翌営業日受付の扱いとなります。

申込種別	申込項目	標準開通日	納期の条件
新設		10 営業日	開通日は営業日
廃止		18 営業日	廃止日は営業日以外も可。廃止日も営業日として標準開通日をカウントします
変更	<ul style="list-style-type: none"> ドメイン数の変更 監視ドメインの変更 プランの変更 サブドメイン 100 以上の追加削除 レポート解説追加 	10 営業日	変更日は営業日
簡易変更	<ul style="list-style-type: none"> 会社名変更 会社住所変更 契約に関する連絡先 	8 営業日	申込書に希望開通日はなく、また開通案内も送付しません。左記の標準開通日は目安です
お問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレス設定 契約管理者の変更 	数営業日	変更日は営業日 申込書ではなく、サービスのお問い合わせ窓口で変更を受け付けます

4.4. 開通案内・配布同館物

- 新設申し込み、変更申し込みの場合に開通案内を発行します。
- 廃止申し込み、簡易変更申し込みの場合は開通案内等を行いません。
- 送付物は、メールにて送付します。次の手順でファイルを受領していただきます。
 - ① お客さまへ送信元が次のメールアドレスからメールが届きます
開通案内 : wa-customer@ntt.com
 - ② お客さまは、メール本文の URL をクリックして、BOX サービスの Web サイトへアクセスします
 - ③ ファイルダウンロード (PDF 形式) には、申込書に記載の開通案内用パスワードを入力します
- 各プランで送付するものは次のものです。

申込	新設	変更	廃止	簡易変更
開通案内 (ご利用内容のご案内)	●	●	-	-

- サービス仕様書やユーザーマニュアルは、サポートサイトからダウンロードしていただきます。(開通案内にダウンロード方法を記載)

4.5. 受付業務

(1) 問い合わせ

- サービス窓口にて、お客さまからのお問い合わせを受け付けます。

窓口	受付時間	手段	内容
セキュリティアドバイザーセンター	平日(年末年始除く) 9:00~17:00	問合せフォーム メール	サービスの内容に関する問い合わせ ポータル画面の操作方法に関する問い合わせ 申込内容の変更に関する問い合わせ

- お問い合わせには次の情報が必要です。この情報が一致することをもって、正当な権限に基づくお問い合わせや申請であることを認証します。正当な権限のないお問い合わせや申請は受け付けられません。

認証に必要な情報	例	備考
契約番号 (N 番)	N+数字 9 桁	開通案内のご案内に記載しています。
契約者名 (会社名)	〇〇株式会社	お申し込みの契約者名 (会社名) です。

(2) 故障対応

- サービス窓口にて、お客さまからの故障のお問い合わせを受け付けます。

窓口業務	受付時間	手段	内容
故障対応	平日(年末年始除く) 9:00~17:00	問合せフォーム メール	ポータル画面操作不具合に関する対応 レポート出力不具合に関する対応 レポート内容の不具合に関する対応

- 故障のお問い合わせには次の情報が必要です。お客様番号（N番）・契約者名（会社名）・メールアドレスを確認し、正当な権限に基づくお問い合わせや申請であることを認証します。正当な権限のないお問い合わせや申請は受け付けられません。

問い合わせ情報	例	備考
1.お客様番号（N番）	N+数字9桁	
2.契約者名（会社名）	〇〇株式会社	
3.発生時間	2022年4月1日 10:00頃	<ul style="list-style-type: none"> 最初に事象を確認した時期 直近での発生日時
4.対象ドメイン	abc.co.jp	
5.対象ドメインのプラン	ASM or ASM+情報漏洩	
6.ユーザアカウント	xyz@abc.co.jp	
7.調査情報	<ul style="list-style-type: none"> 対象画面（URL） 問題の事象 不具合の画像（スクリーンショット） 期待する動作 再現性 	
8.動作環境	<ul style="list-style-type: none"> ブラウザ名（バージョン） その他（ネットワークやOSなど特殊な環境下の利用であればその情報） 	
9.お客様名		
10.メールアドレス		
11.電話番号		

4.6. 工事・故障通知

- 計画工事の通知は、2週間前を目安にサポートサイトに掲載します（お客さまがサポートサイトにてメール通知設定された場合は、掲載時にメール通知されます）。
- 緊急工事や故障の通知は、サポートサイトに掲載します（お客さまがサポートサイトにてメール通知設定された場合は、掲載時にメール通知されます）。

4.7. 請求方法

- 本サービスの請求については担当営業にお問合せください。

4.8. 重要説明事項

重要事項を記載します。その他利用規約の内容を遵守いただきます。

4.8.1. ライセンスについて

- 「ダークウェブアイサービス利用約款」とはダークウェブアイサービスで定める利用約款のことをい、契約者は本サービスのうち、ダークウェブアイサービスの利用にあたり、株式会社 SMS データテックと直接ダークウェブアイサービス利用約款に基づき契約を締結するものとします。
- ダークウェブアイサービスに関して、本規約に定めていない提供条件については、ダークウェブアイサービス利用約款の定めるところによります。
- なお、株式会社 SMS データテックは、ダークウェブアイサービスの変更ならびに適用される法律の変更に伴い、ダークウェブアイサービス利用約款を適宜変更することができるものとし、ダークウェブアイサービスに関して本規約に特段の定めがない限り、ダークウェブアイサービス利用約款を適用されるものとします。

URL : <https://www.sms-datatech.co.jp/products/darkweb-eye/agreement-form>

4.8.2. 品質について

- 本サービスは、SLA（Service Level Agreement）を規定しません。

4.8.3. アクセス回線について

- 本サービスに接続をするためのインターネット回線については、お客さまにてご準備ください。回線にかかる費用（ISP 料金を含む）は、本サービスとは別に発生し、ご利用になった通信会社から利用料金が請求されます。

4.8.4. 最低利用期間

- 最低利用期間を 12 カ月とします。この期間内に解約の場合は、一律の違約金を一括して支払うものとします。

4.8.5. 料金について

- 本サービスの料金は利用規約 別紙 1 料金表に記載します。
- 本サービスのメニューの内、基本プラン/サブドメイン 100 以上のオプションは月額料金とします。オプションのレポート解説は一括料金とします。
- 基本プランを利用開始した最初の月の翌月から月額料金が発生します。
- 基本プランを利用開始した最初の月の翌月以降に、サービスの数量の変更があった場合、当該月の月末時点の契約内容に基づいて料金が発生いたします。
- 契約の解除およびサービスの廃止があった月の月額料は、契約解除および廃止した時点の数量をもとに当該月の利用料を計算いたします。
- 全てのメニューの料金について、日割り計算はいたしません。
- お客さま都合により本サービス開通日までにご利用のご案内をお受取になれなかった場合は、本サービスの料金の返還はいたしません。

4.8.6. 提供中止

- 当社は、災害・広域停電・インターネット障害・パンデミック等の事態が発生し、本サービスを提供することが困難な場合は本サービスの一部又は全部の提供を中止することがあります。

4.8.7. 契約の成立

- 契約の成立は、お客さまからお申し込みを頂いた日をもって成立するものとさせていただきます。ただし、そのお申し込みの不備がある場合等、お承りできない事があります。また、お承りのご連絡は、ご利用開始時に通知する『ご案内』をもって代えさせていただきます。

4.8.8. 契約の解除

- お客さまが本サービスの利用規約に記載のお客さまの義務の規定に違反したとき、当社は契約を解除することがあります。

4.8.9. 免責

- 当社は本サービスを現状有姿で提供するものであり、契約者は、当社が本サービスについて正確性、実現性、市場性、有用性、特定目的適合性、有効性を保証するものではないことを了承し、契約者の責において本サービスを利用するものとします。

- 当社は、本規約の変更等により契約者が本サービスを利用するにあたり当社が提供することとなっている設備、端末等以外の設備、端末等の改造又は変更（以下、この条において「改造等」といいます。）を要する場合であっても、その改造等に要する費用については負担しません。

4.8.10. サービスの廃止

- お客さまからの廃止申込により本契約は終了し廃止されます。

4.9. 留意事項

4.9.1. ご利用について

- 本サービスのご利用にあたり、お客さまの既存環境に合わせてご利用いただく必要があります。お客さまのクライアント端末やプロキシの設定変更、ファイアウォールの許可、証明書インストール等、お客さまにて設定の変更を行い本サービスの使用環境の準備をお願いいたします。また、お客さま既存環境の設定変更についてはサポート外となります。本サービスのご利用にあたっては、お客さまご自身で必要に応じてオプションのアプリケーションのインストールおよび開通確認を行っていただきます。
- 本業務では公開情報からお客さまの脅威となる情報を抽出分析して提供します。提供する情報は情報源、内容を含めて精査して精度を高めておりますが、古い情報や誤った情報を含むことがあります。また、脅威情報の検出については全ての脅威を検出することを保証するものではありません。
- 本サービスの調査手法・項目については攻撃手法や外部環境の変化、技術的要因、効率性の改善等の理由により変更する場合があります。同様に情報源、モニタリング対象についても NTT ドコモビジネスの判断によって変更する場合があります。
- 本業務内で提供する各種推奨事項の実行はお客さまの判断・責任において行われるものとします。
- 本業務で実施する調査手法や情報源は原則開示しません。
- 各種調査結果は状況に関して保証や意見表明などを行うものではありません。
- 本業務の中で発生した著作物に関する著作権は NTT ドコモビジネスに帰属します。お客さまの内部使用に限って利用は可能ですが、関連会社以外の第三者に配布・公開はできません。

4.9.2. 注意事項について

- 送付物は、送信元が “ wa-asm-support@ntt.com ” からメール通知が届きますので、このドメインからのメールが受信できるようにしてください。
- 送付物を解凍またはダウンロードする際のパスワードは、お申し込み時にお客さまに記載いただいたものを使用し当社から通知は致しません。パスワードをお忘れの場合は、本サービスのサービス窓口までお問い合わせください。

- ドメイン数を変更する場合は、当該月の月末時点の契約内容に基づいて料金が発生しますので、標準納期で対応可能な暦月の最初の平日を指定してください。
- 最低利用期間は、ご利用開始日から月単位で起算して 12 カ月とします。
- 同業者様からのお申し込みはお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. お問い合わせ連絡先

本サービスのお問い合わせについては、ベストエフォートで対応しており、お問い合わせ内容により、翌営業日対応となることがあります。

内容	受付窓口	連絡先	受付時間
ご利用開始後のサービスのお問い合わせ	セキュリティアドバイザリーセンター	電話：なし E-Mail：wa-asm-support@ntt.com お問い合わせフォーム： https://support.ntt.com/wideangle-asm/inquiry/search	平日(年末年始除く) 9:00～17:00
料金に関するお問い合わせ	Billingカスタマセンタ	電話：0120-047-128 https://www.ntt.com/b-charge	平日(年末年始除く) 9:00～17:00
サービス情報サイト	NTT ドコモビジネスお客さまサポートサイト	https://support.ntt.com/wideangle-asm	24 時間 365 日

6. 用語集

本書で使われる用語と略語です。

No	用語	定義
1	ASM	アタックサーフェスマネジメント（Attack Surface Management）の略称。ASMは、組織の外部（インターネット）からアクセス可能なIT資産を発見し、それらに存在する脆弱性などのリスクを継続的に検出・評価する一連のプロセス。
2	M&S部	NTTドコモビジネス株式会社プラットフォームサービス本部マネージド&セキュリティサービス部の略称。
3	SDT	株式会社SMSデータテックの略称。ダークウェブアイサービスのサービス提供元です。
4	ダークウェブアイ	本サービスのメインツールです。

改訂履歴

バージョン	主な変更	日付
1.00	初版作成	2025年2月3日
1.01	4.2.2 開通案内兼ポータル用パスワード文字数条件の変更 4.3 変更申込項目の追記	2025年5月21日
2.00	1 関連文書にログインマニュアルを追加 3.4 スキャン条件を追記 3.5 提供機能に、プロジェクト/チーム/ユーザの関係、権限ロール等の追加 3.5.2 レポート解説の対象範囲の修正と提供条件の追記 3.6 ASM 調査項目を追加 3.6 データの保管期間を追加（クローズ履歴、検知しなくなった表示も含め記載） 4.2.2 申込書の項目名変更（ユーザアカウント→管理者ユーザ）、管理者ユーザ数、文字数条件の変更 4.3 変更申込書でユーザアカウント変更項目の削除	2025年6月17日
2.01	全般 会社名変更（NTT コミュニケーションズ/NTTCom→NTT ドコモビジネス） 3.5.1 企業設定の IP アドレス設定機能、個人設定のログイン履歴機能の追加	2025年7月10日
2.02	3.4 監視ドメインの申込条件を追記 4.2.1 Web サイト申込を追記 4.2.2、4.5 契約番号を A 番から N 番へ変更 4.4 開通案内の送付方法の変更（ファイル添付→BOX の URL 通知） 4.5、5 サービス窓口名を変更（ASM サービス窓口→セキュリティアドバイザーセンター）	2025年8月1日
2.03	3.4、3.5.1、4.2.2、4.3 契約管理者権限の追加 3.4、3.5.1、3.6(5)、4.3 IP アドレス制限機能の追加 3.5.1 英字対応機能と操作履歴表示機能の追加	2025年8月21日
2.04	3.5.1(6) ユーザアカウントロックの解除機能の追加	2025年9月25日
2.05	3.5.1(6) Slack 通知機能の追加	2025年11月10日
2.06	3.5.1(7) 英字対応機能の削除	2025年12月5日